

講 義 要 項

授業科目	老年看護学援助論Ⅱ			担当者	吉満 梨奈
区 分	単位数	時間数	授 業 形 態	履修年次・前／後	
	1 単位	30 時間	講義・DVD・シミュレーション演習	2年次・前期・後期	
授 業 目 標					
1. 高齢者に特有な症状や原因・誘因を理解しのアセスメント能力と看護について説明できる。 2. 治療・処置を受ける対象とその家族への看護が説明できる。 3. エンドオブライフケアの概念を学び、生ききることを支えるケア、意思決定への支援が理解できる。					
単元名	目 標	内 容	時間	単位	授業方法
1. 老年症候群について	1. 老年症候群の特徴と急性疾患、慢性疾患に付随する症候とその看護が理解できる。	1. 老年症候群の特徴 2. 急性疾患に付随する症候と看護 3. 慢性疾患に付随する症候と看護 4. ロコモティブシンドローム、フレイルとサルコペニアについて	4		講義
2. 高齢者の疾患の特徴と回復を促す看護	1. 高齢者の疾患の特徴とその看護が理解できる。 2. 健康障害のある高齢者の看護を生活機能の視点から理解できる。 3. 認知症のある高齢者の看護について理解できる。	1. 脳・神経障害を持つ高齢者の看護（脳血管障害・パーキンソン） 2. 循環器系の疾患を持つ高齢者の看護（心不全） 3. 呼吸器系の疾患を持つ高齢者の看護（高齢者の肺炎・肺気腫） 4. 感覚器に障害のある高齢者の看護（老人性難聴・白内障） 5. 腎・泌尿器に障害のある高齢者の看護（前立腺疾患・慢性腎不全） 6. 骨・関節に障害のある高齢者の看護（腰部脊柱管狭窄症・大腿骨近位部骨折） 7. 認知症の理解（中核症状と周辺症状） 8. 認知症のある高齢者への看護（対応技術、家族支援）	16		シミュレーション授業 グループワーク DVD
3. 治療を必要とする高齢者の看護	1. 高齢者の診察・検査・処置に伴う看護の方法が理解ができる。	1. 検査を受ける高齢者の看護 2. 薬物療法を受ける高齢者の看護 3. 手術を受ける高齢者の看護	6		講義
4. エンドオブライフケアの概念と対象、家族への支援	1. エンドオブライフケアの概念を知り、自己の死生観を考え、高齢者とその家族への支援・援助を学ぶことができる。	1. エンドオブライフケアの概念 1) 「生きること」を支えるケア 2. 高齢者とその家族へのケア 1) 対象の意思決定への支援 2) 末期段階における対象と家族への援助	3		講義・DVD
			修得試験	1	1
参 考 文 献 等	1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学, 医学書院. 2. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾病論, 医学書院.				
評 価	1. 単位修得試験・出席状況・課題提出状況・演習態度				
備 考	実務経験：看護師としての豊富な知識・経験をもとに授業を行う。				